

第6课 爱好·喜好 趣味·嗜好

やす ひ
「休みの日ってどうしてますか」
“休息天常常怎么过？”

1. 有关“爱好·喜好”的话题是哪些方面的呢？「趣味·嗜好」の話題って？

◆ 想像一下！ 想像してみよう！

“爱好·喜好”在日本人交谈的话题排名中，始终名列前茅。这是因为谈论“爱好·喜好”这样的话题，不用担心会触及到对方的隐私而是四平八稳的。实际上，人本身是很喜欢跟别人谈论自己喜好的，即使是一个沉默寡言的人，只要涉及到其爱好·喜好，就会打开话匣子的。

当然，或许有的人在中国时，有着属于自己的兴趣和爱好，可是到了日本以后，没有时间和经济能力往那上面花了；或许也有不少人会说，我本来就没有什么兴趣爱好；或是，我把所有的精力都花在过日子上了！只是，即使是这样，有的人可能做菜做得很好（尽管这或许不能说是兴趣爱好），或者可以跟别人谈论自己喜欢的东西、演员或电视剧等各种事情。比如，某个韩流明星；在阳台上种的蔬菜或花卉；给孩子编织的毛衣；星期天去钓鱼……只要是你能说的、想说的，如果这些话题能跟周围日本人分享的话，那么，你们的交谈就会变得十分带劲儿和投机。

在这里，我们将像以往一样，围绕“爱好·喜好”这一话题，思考一下在一般情况下，人们都会怎么谈。请想一下你自己或是你身边某个人的兴趣爱好、生活中擅长/喜欢的事情，以及迄今为止，就这一话题与别人交谈时所说的话。没有跟别人交谈过这方面内容的人，可以设想一下如果与人交谈，你要问对方什么问题，并把它们记下来。

● 如果知道对方喜欢的东西、事情，并就此询问对方的话
相手の好きなもの・ことを知っていてそれについて尋ねるとしたら

● 如果询问对方喜欢什么东西·事情的话
相手がどんなもの・ことが好きかを探るとしたら

好，想像完毕之后，就让我们进入下一个程序吧。请翻开下一页。

さあ、想像できたら次に進みます。ページをめくって下さい。

「趣味·嗜好」は常に日本人のおしゃべりの話題の上位を占めています。それは、「趣味·嗜好」が、相手のプライバシーに立ち入る恐れのない、無難な話題だからでもあります。もともと人は自分の好きなことについては他の人と話したいものですね。無口な人でも自分の趣味については饒舌になったりします。

もちろん、中国にいたときは自分の趣味と言えるものを持っていたのに、日本に来てからはそれに割ける時間とお金もないという人もいれば、もともと趣味なんてないという人や、日々の生活で手一杯だよ！という人も少なくないと思います。しかし、そんな人でも、趣味とは言えないけれど料理は得意だ、とか、あるいは、自分の好物や好きな芸能人・ドラマについてなら話せるという人もいるのではないですか？ 例えば、韓流スターのあの人、ベランダで作る野菜や花、子どもに編んであげるセーター、日曜日の釣り…、あなたが話せる・話したい、そんな話題を周りの日本人と共有できたら話も弾みそうではないですか！

ここで、いつものように、このテーマで一般的に話されることを考えてみることにしましょう。自分や周りの誰かの趣味や、生活の中で得意なこと・好きなことを思い浮かべて、これまでにその話題で人と話したことを思い出してみてください。話したことがないという人は、話すとしたら、相手にどんなことを聞きたくなるかを想像して、以下(前頁)にメモしてみましょう。

◆ 开始准备！ 準備しよう！

以下是我们列举的几个话题的例子。 以下に話題の例をいくつかあげてみました。

- 就对方自己喜欢的东西·事情询问的话, 或者就自己喜欢的东西·事情谈论的话
· 从什么时候开始喜欢的? 契机是什么? · 怎么个喜欢法儿? 具体都做些什么?
· (需要技术的话) 怎么学会的? · 需要什么工具
· 在哪儿、和谁、频率、费用 等

- 如果询问对方喜欢什么东西·事情的话
· 节假日怎么过? 去品尝各家店的拉面? 散步? 搞电脑?
· 喜欢/擅长做菜? 缝衣服? 织毛衣? 园艺? 体育运动? 钓鱼? 拍照片? 搞电脑? 等等
· 喜欢吃的东西? 喜欢听的音乐? 艺人? 戏剧? 影片? 等等

○相手の好きなもの・ことを知っていてそれについて尋ねるとしたら
· いつから好きに? きっかけは? · どんなふうが好き? 具体的には何してる?
· (技術要る場合) どうやって習得したのか · 必要な道具
· どこで、誰と、頻度、費用 等

○相手がどんなもの・ことが好きかを探るとしたら
· 休みの日は何してる? ラーメンの食べ歩き? 散歩? PC?
· 料理・裁縫・編み物・園芸・スポーツ・釣り・写真等は得意? 好き?
· 好きな食べ物・音楽・芸能人・ドラマ・映画 etc

怎么样? 这些内容是否与你所想像的大致相同呢?

我们刚才说过, 围绕爱好·喜好的话题是四平八稳的。只是, 实际上这是建立在双方都有共通的爱好的·喜好、或是对对方有着什么样的爱好·喜好看兴趣这样一个前提下的。也就是说, 要进入有关爱好·喜好的话题, 还需要试探一下自己的爱好·喜好是否与对方一样。话虽这么说, 可一上去就问对方“~~你喜欢?”, 未免显得太唐突。因此, 还需要一个开启话头的契机。学习怎么从这样的契机开始, 自然而然地将话题引到彼此的爱好的·喜好上去, 也是我们这一课的目标之一。

还有, 随着交谈逐渐展开, 或许一开始对你有什么爱好·喜好漠不关心的人, 也

◆ 边看边听! 見ながら聞いてみよう!

CD-1

好,你是否大致听懂了对话的内容呢? 下面是两个人对话内容的文字版。接下来,请一边看教材,一边再听一遍 CD。

さて、音だけで話の内容は大体理解できましたか? 以下は二人のおしゃべりを文字にしたものです。では、テキストを見ながら、もう一度 CD を聞いてみてください。

交谈 1. “试探对方有什么爱好・喜好” おしゃべり1. 「相手の趣味・嗜好を探る」

两名同事。在连休前的公司酒会上。桥本是主持者,所以照顾年轻同事吉田,与他搭话。

同僚同士。連休前の会社の飲み会。橋本さんは幹事なので、気を遣って若い同僚の吉田さんに話しかけている。

はしもと れんきゅう 橋本: 連休は どこか行かれるんですか。	连休期间去哪儿吗?
よしだ とく 吉田: ああ、いや特に。橋本さんは?	嗯,没有什么打算。桥本女士您呢?
わたし こ つ 橋本: 私 は子ども連れてハイキングです。	我要带着孩子去郊游。
よしだ やす み 吉田: いいですねえ。私なんか休みもテレビ見てごろごろしてるだけで。	真好啊! 我呀,放假的时候只不过是看看电视、躺着休息而已。
橋本: テレビとか、いつもどんなの見てるんですか。	电视节目之类的,你都喜欢看什么呢?
よしだ じまん 吉田: へー、『のど自慢』とか、ニュースとか。	嗯,“炫金嗓”呀,新闻呀之类的。
橋本: へ ? 『のど自慢』? のど自慢って あのえぬえいちけー N H K の?	啊?! “炫金嗓”? ! 你说的炫金嗓,是不是NHK的那个?
よしだ にちようひる 吉田: そうです、そうです。日曜昼の。	就是,就是。星期天中午的。
橋本: へえ ...、面白いんですか?	哦,有意思吗?
よしだ ひと 吉田: あ、けっこう。うまい人はうまいですよ。	嗯。挺有意思的。唱得好的人就是唱得好。

橋本:ふうん。	是吗。
吉田:あと、衣装が派手な人とか、泣かせる話の人とか、いろいろ出てきますし。	还有，有的人穿得可华丽了；也有的人讲催泪故事，什么人都有。
橋本:そうなんだ。	哦，是吗。
吉田:そうそう、最近 ^{さいきん} は外国人 ^{がいこくじん} とかもけっこう出てるんですよ。	对了，最近外国人参加的也很多呀。
橋本:へえ、それって日本語 ^{にほんご} で歌う ^{うた} んですよね。	是吗。那个是用日语唱吧。
吉田:もちろん。チャンピオンになる人もいますよ。	当然。还有外国人夺冠的呢。
橋本:ほんと、今度 ^{こんど} 見てみようかな。	真的。下次我也看看
吉田:ぜひ! 年 ^{ねん} に1回 ^{いっかい} のチャンピオン大会 ^{たいかい} なんか特に見物 ^{とく みもの} ですよー。	一定要看看。一年一次的冠军赛，那才叫好看呢!
橋本:え、チャンピオン大会まであるの!?	什么? 还有冠军赛呐?!

※へ：短音“へ”表示轻微的惊讶。

音の短い「へ」は、軽い驚きを表す

※へえ：“へえ”虽然是一种感到钦佩、惊讶时的随声附和语，但如此这般，也可以用于感到有些怀疑时。

「へえ」は感心したり、驚いたりしたときに使う相づちだが、このように少し疑っているときなどにも使う。

※[うまい]人は[うまい]ですよ：[唱得好]的人就是[唱得好]。

※ほんと：随声附和语。语音分为升调和降调两种，此处说成降调以表示惊讶。若是说成升调的话，表示怀疑的语气便会比较重。

相づち。上がり調子と下がり調子があるが、ここでは下がり調子で驚きを表す。上がり調子のほうが、疑いの気持ちが強い。



3-2 各种各样的“问题” いろいろな“質問”

(1) 听力练习 聞き取り練習

参考以下练习方法，争取在什么都不看的情况下听懂 CD 里的问题！虽然 CD 里收录着包括回答在内的对话内容。此处，我们制定的目标是让大家听懂里面的提问。

以下の練習方法を参考に、何も見ずに質問の意味が聞いてわかるようになります！CD には答えも含むやりとりが録音されていますが、ここでは、質問の聞き取りができることを目標とします。

《练习方法》

 **オトダケリスニング：不看光听**

不看教材，光听 CD，试着看看自己是否听得懂
テキストを見ないで CD を聞いて、意味が分かるか試してみよう

 **ミナガラリスニング：边看边听**

一边看教材一边听
テキストを見ながら聞いてみよう

 **オトダケリスニング：不看光听**

不看教材，再听一遍 CD，确认是否能听懂
テキストを見ずにもう一度聞き、聞き取れるか確認しよう

(1) - 1 询问怎么度过业余时间，并以对方的回答为契机提出下列问题

どのように余暇を過ごしているかを尋ね、その答えをきっかけに次の問いを出す

首先，围绕休闲的过法，如果对对方的回答如上述第一节 2-2 的话，那么，就请看一下怎样再详细地提问。

まず、前節の 2-2 のような余暇の過ごし方をしていると答えた人に、もう少しどのように詳しく尋ねるかを考えていきましょう。

CD-14

① 针对回答并不做什么/忙于做家务的人 特に何もしていない/家事多忙と答えた人に

	询问 質問	回答
a	看看电视什么的吗？ テレビとかは見たりします？	嗯，搞笑节目什么的看啊。 ああ*、お笑い*とかは見ますね。
b	不去外面什么的吗？ で 出かけたとかは、しないんですか*。	嗯，也就是一年去一两次温泉吧。 そうですね、まあ一年に1、2回温泉に行くぐらいは*。

※ああ：是为争取回答时间用的词。

答えを言うまでの時間稼ぎの語。

*お笑い：“お笑い番組”的略称。是电视节目的一种，有滑稽、相声等，以引听众一笑为目的。

テレビ番組のジャンルの一つ。コントや漫才など、聴衆を笑わせることを目的とする。

※～ないんですか：由于是在对方已经回答“什么也不做”的基础上，进一步加以询问的问题，所以不用“しますか(做～吗?)”，而用否定形式“～しないんですか(不做～吗?)”。

相手が「何もしない」と言っているのになおつつこんで尋ねる質問なので、「しますか」ではなく「～しないんですか」と否定の形で尋ねている。

※～ぐらいは：「～ぐらいはしますけど」的简略形式。

「～ぐらいはしますけど」の省略された言い方。

② 针对回答兴趣是看电视、上网、看电影、听音乐等欣赏类的人

CD-15

テレビ・ネット・映画・音楽等、鑑賞系の趣味と答えた人に

	询问 質問	回答
a	[针对回答看电视、上网]的人 (平时)看什么节目? [テレビ・ネットを見ていると答えた人に] どんな番組、見えます?	电视剧什么的。 ドラマとかですね。
b	[针对回答在网上看电影、DVD的人]常常看什么? [ネットで映画・DVDを見ていると答えた人に] どんなの*、よく見るんですか。	武打片吧。功夫拳什么的。 アクションですね、カンフーとか。
c	[针对回答看电视转播的体育比赛或去外边看体育比赛的人] 你是哪个队的粉丝? [テレビで観戦&出かけてスポーツ観戦と答えた人に] どこのファンですか。	是阪神。 はんしん 阪神*ですよ。
d	[针对回答网购的人] 常用哪个网? [ネット通販と答えた人に] どこの*、よく使ってます?	还是要数亚马逊吧。 アマゾン*かな、やっぱり。

※どんなの：＝どんな[もの/映画/ジャンル/作品等]。以“疑問詞+の”的形式将疑问词名词化。「どんなの」具体指什么样的[东西、影片、种类、作品等]，会根据上下文的不同而不尽相同。

例)「誰のが面白かった?」(是谁的(作品、影片、节目等等)有趣?)

「疑問詞+の」で名詞化して使われる。どんなもの/映画/ジャンル/作品等、文脈によって指しているものは異なる。

*阪神：是日本职业棒球队之一，属于“セ・リーグ(中央联盟)”。

日本のプロ野球球団の1つ。セ・リーグ所属。

※どこの＝どこの(通販会社)。

*アマゾン：网上购物的最大公司名称。ネット通販最大手の企業名。

5. 将会话连接起来

やりとりをつなげる

在第四节中，我们边看如何针对围绕兴趣·喜好所提的问题进行回答，边进行了会话练习。有关兴趣·喜好的话题，内行的人往往想说得详细一些；相反，尚若是门外汉，则往往一窍不通。但是，如果你对对方的兴趣·喜好看感兴趣的话，那么即便是一窍不通，不，或许正是因为一窍不通，才能将对方主动地询问下去吧，这与第五课的“出身地点”的话题也有相通之处。此外，你自己也有可能有着某种兴趣·喜好，因而也想说给对方听吧。

因此，让我们在第五节里练习一下如何就某种兴趣和喜好，在听了对方的回答之后，再进一步提问→再予以回答，从而通过如此反复问答，来完成一段较长的对话。

第4節では、趣味・嗜好を巡る質問に対して、どんなことをどんな風に答えるかという例を見ながら、発話練習を行いました。趣味・嗜好については、詳しい人は詳しく話したがるけれど、門外漢は何のことかさっぱり、ということが往々にして起こります。しかし、相手の趣味・嗜好に対して関心があれば、さっぱりわからなくても、いやわからないからこそ、積極的に尋ねていくこともできるでしょう。これは第5課の「出身地」話題とも共通しますね。また、あなたが何か趣味を持っていて、それについて説明したいという場合もあるでしょう。

そこで、この第5節では、一つの趣味・嗜好について、相手の答えを受けて更につつこんで尋ねる→その問いに答える、この繰り返して成立する長めのやりとりの練習をしてみましょう。

5-1 确认词汇 語彙チェック

先记住下述词汇！ まず、この後出てくる語彙表現を覚えましょう！

《练习方法》



ミナガリスニング：边看边听

看着生词表听 語彙表を見ながらCDを聞こう



マネシテリピート：模仿跟读

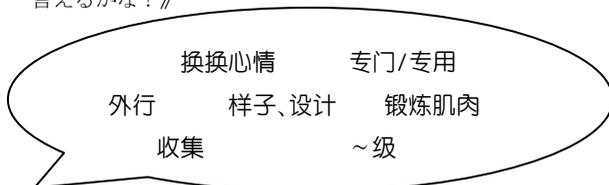
跟着 CD 练习发音 CDの後について発音してみよう

CD-50

日语 日本語	读法(假名) 読みがな	汉语 中国語
色遣い	いろづかい	配色
筋トレ	きんとれ	锻炼肌肉
流派	りゅうは	流派
～段	だん	～段(参看 p180 的解释)
～級	きゅう	～级
専門	せんもん	专门、专用
集める ⊖	あつめる	收集
気分転換	きぶんてんかん	换换心情
デザイン	でざいん	样子、设计

日本食	にほんしょく	日本菜
みそ汁	みそじる	酱油
カレーライス	かれーらいす	咖喱饭
素人	しろうと	外行

☺ 《说得出来吗？ 言えるかな？》



- ※ 还说不出来的人，请做下述练习 ※ まだ、言えない人は、以下の練習もしてみよう
- ・ 看着生词表的汉语练习说日语 ・ 語彙表の中国語を見て日本語を発音してみよう
 - ・ 看着生词表的汉语练习写日语 ・ 中国語を見ながら日本語を書いてみよう

5-2 各种各样的对话 いろいろなやりとり

在此我们根据不同的目的将会话分成几个种类，大家要练习的主要是提问方 A 所说的内容，但在有些会话中，也包含着需要练习回答方式的内容，我们在此类会话中加注了记号 **也请注意回答的内容！ 答えにも注目！**，请大家看一下。

ここでは、会話を目的別にいくつかに分けて掲げました。皆さんが練習するのは主に尋ねる方の A さんのセリフですが、会話によっては、答え方も練習するといいいものが含まれています。そんな会話には、**答えにも注目**マークを付けたので、見てみてください。

(1) 听力练习 聞き取り練習



オトダケリスニング：不看光听

不看课本听 CD，看看是否能听懂

テキストを見ないで CD を聞いて、意味がわかるか試してみよう



ミナガラリスニング：边看边听

边看课本边听

テキストを見ながら聞いてみよう



オトダケリスニング：不看光听

再一次什么也不看，确认是否能听懂

もう一度、何も見ないでわかるか確認しよう

① 围绕对方的兴趣・喜好中较为细微的部分所进行的对话

相手の趣味・嗜好の、細かい好みについてのやりとり

若你对对方所喜爱的领域有些许印象，或是能够稍许进行想象的话，那么，你就可以询问一下对方在那个领域中的爱好。比如：在那个领域中，“谁/什么/什么地方有意思”等等。在得到对方的回答后，可以进一步详细询问。请看几个例子。首先是围绕对方所喜欢的电影。同时也请将此作为就自己的爱好回答对方时的参考。

相手が好きな分野についてあなたが少しイメージが持てる場合、その分野の中での好みを尋ねてみるといいですね。例えば、その分野では、「誰/何/どこ等が面白いかなど。その問いに対する答えが得られたら、さらにそれについて詳しく聞くことができます。いくつか例を見てみましょう。まずは好きな映画について。自分の好みについて答える場合の参考にもして下さい。

也请注意回答的内容！ 答えにも注目！

(1) [被问到看什么 DVD 时] どんな DVD を見ているかと聞かれて

B1: アクションだね、カンフーとか。	武打片吧，比如功夫片什么的。
A1: へえ、カンフー。最近だと、どんなのが面白かった？	是吗？功夫片。最近什么比较有意思？
B2: ちょっと古いけど、「カンフーハッスル」とか最高だよ。	尽管是比较老的片子，但《功夫》是最棒的。
A2: それってどんな感じのやつ？	那是部什么样的感觉的片子啊？
B3: うん、チャウ・シンチーってのが監督で主演なんだけど…(続く)	嗯，是周星驰导演并主演的…(继续)

接下来，是关于喜爱的小旅行之目的地的问答。続いてお気に入りの小旅行の目的地について。

(2) [被问到去哪一带时] どの辺に出かけてるか聞かれて

B1: 近場が多いですね、房総とか。	大多去比较近的地方，比如房总等。
A1: へえ、房総だとどの辺がいいですか。	是吗？那房总的哪一带比较好呢？
B2: うちがよく行くのは鶴原なんですけど、	我们家去的是鹤原。
A2: ウバラ…、聞いたことないんですけど、何があるんですか。	鹤原？没听说过，那儿有什么？
B3: いや、水がすごい※きれいで、磯遊びにいいですよ、駅からも近いし。	那里的海水非常干净，很适合在海滨玩耍，而且离车站也近。

※すごい：在这里是「すごく」的意思。最近，年轻人多用「すごい」来表达“很～”。

ここでは「すごく」の意味。最近は、特に若い人を中心に「すごく」の意で「すごい」を使うことが多い。